

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年5月14日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

【会社名】 I M V 株式会社

【英訳名】 I M V C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡本二郎

【本店の所在の場所】 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号

【電話番号】 06-6478-2565(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画本部長代行 濱里一也

【最寄りの連絡場所】 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号

【電話番号】 06-6478-2565(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画本部長代行 濱里一也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
I M V 株式会社東京営業所
(東京都港区浜松町二丁目1番5号 クレトイシビル4階)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第67期 第2四半期 連結累計期間 | 第68期 第2四半期 連結累計期間 | 第67期 |
|------------------------------|------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日 | 自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日 | 自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日 |
| 売上高 | (千円) | 3,620,538 | 4,346,045 | 6,119,313 |
| 経常利益 | (千円) | 698,744 | 979,442 | 726,395 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 463,091 | 554,493 | 448,877 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 475,403 | 551,326 | 466,107 |
| 純資産額 | (千円) | 3,095,915 | 3,555,726 | 3,086,117 |
| 総資産額 | (千円) | 8,534,976 | 9,126,641 | 7,762,797 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 28.33 | 33.93 | 27.46 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 36.3 | 39.0 | 39.8 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 233,988 | 186,626 | 261,275 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 111,431 | 23,886 | 170,399 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 300,777 | 108,470 | 57,027 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 1,380,165 | 1,399,790 | 1,111,550 |

| 回次 | | 第67期 第2四半期 連結会計期間 | 第68期 第2四半期 連結会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日 | 自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 12.79 | 19.90 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げを控えた駆け込み需要の高まりや設備投資の持ち直しなど、内需を中心に回復基調が続きました。しかしながら、新興国を中心とする海外景気の下振れ懸念や円安による輸入物価の上昇、消費税増税後の個人消費への影響など不透明な状況も残されています。

このような環境の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムの販売をイギリス、ドイツをはじめとした欧州諸国においてさらに強化しております。また、地震監視装置・振動計測装置の海外での販売を行う等、メジャリングシステムの販路拡大に向けた活動を行いました。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスにおいて、自動車関連業界・航空宇宙関連業界を中心に順調に売上が推移し、前年同四半期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は4,346百万円となり、前年同四半期と比べ725百万円の増収(対前年同四半期比20.0%増)となりました。利益面では増収効果により経常利益は979百万円となり前年同四半期と比べ280百万円の増益(対前年同四半期比40.2%増)となり、四半期純利益は554百万円となり前年同四半期と比べ91百万円の増益(対前年同四半期比19.7%増)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

振動シミュレーションシステム

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、自動車関連業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステム及び「エコシェーカー」(省エネ型振動シミュレーションシステム)の売上が依然として順調であり、欧州地域向けの振動シミュレーションシステムの売上也増加しました。また、航空宇宙関連業界において大型案件の売上を計上したこと等により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は3,128百万円となり前年同四半期と比べ539百万円の増収(対前年同四半期比20.8%増)となりました。

メジャリングシステム

メジャリングシステムの分野におきましては、中国・台湾へ地震監視装置及びベトナムへ振動計測装置の販売を行う等、販路拡大に向けた活動を行いました。国内における高額な多チャンネル仕様の製品の伸び悩みにより、売上高につきましては、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は471百万円となり前年同四半期と比べ12百万円の減収(対前年同四半期比2.6%減)となりました。

テスト&ソリューションサービス

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、名古屋テストラボにおいては、自動車関連業界のHV・EV関連等の試験が引き続き好調でありました。大阪テストラボにおいては、建機関連業界を中心とした大型試験機の受託試験、鉄道車両用機器向けの試験が順調に推移しました。また、東京テストラボにおいては、前連結会計年度に設備増強した耐震用試験が順調に推移しました。

以上の結果、この品目の売上高は746百万円となり前年同四半期と比べ198百万円の増収(対前年同四半期比36.3%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ1,363百万円増加し、9,126百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,464百万円増加し、6,292百万円となりました。この主な要因は、製品の減少167百万円があったものの、現金及び預金の増加294百万円、受取手形及び売掛金の増加1,169百万円、仕掛品の増加121百万円及び原材料の増加19百万円があったことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ100百万円減少し、2,834百万円となりました。この主な要因は、減価償却費等による有形固定資産の減少109百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ894百万円増加し、5,570百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ791百万円増加し、4,590百万円となりました。この主な要因は1年内返済予定の長期借入金の減少15百万円、未払金の減少79百万円、未払費用の減少50百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加554百万円及び短期借入金の増加100百万円があったことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ102百万円増加し、980百万円となりました。この主な要因は長期借入金の増加105百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ469百万円増加し、3,555百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加472百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.8ポイント減少し39.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて288百万円増加し、1,399百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動で取得した資金は前年同四半期累計期間と比べ47百万円減少し186百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益934百万円、たな卸資産の減少額30百万円及び仕入債務の増加額518百万円等による増加要因が、売上債権の増加額1,167百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動で使用した資金は前年同四半期累計期間と比べ87百万円減少し23百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動で取得した資金は前年同四半期累計期間と比べ192百万円減少し108百万円となりました。これは主に短期借入金の純増額100百万円、長期借入れによる収入300百万円等による増加要因が、長期借入金の返済による支出209百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は202百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 67,820,000 |
| 計 | 67,820,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年5月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 16,957,016 | 16,957,016 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 16,957,016 | 16,957,016 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年3月31日 | | 16,957,016 | | 464,817 | | 557,563 |

(6) 【大株主の状況】

平成26年3月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%) |
|----------------|--------------------------------------|--------------|----------------------------|
| 有限会社 S E I K O | 大阪市北区堂島2丁目1-25-401 堂島アーバンライフビル401 | 2,993,100 | 17.65 |
| I M V 従業員持株会 | 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号 I M V 株式会社 | 1,399,320 | 8.25 |
| 小嶋 成夫 | 奈良県奈良市 | 1,301,000 | 7.67 |
| 小嶋 淳平 | 兵庫県西宮市 | 814,660 | 4.80 |
| I M V 取引先持株会 | 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号 | 794,000 | 4.68 |
| エスバック株式会社 | 大阪市北区天神橋3丁目5番6号 | 766,000 | 4.52 |
| I M V 株式会社 | 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号 | 613,353 | 3.62 |
| 小嶋 健太郎 | 大阪市中央区 | 415,464 | 2.45 |
| 日本証券金融株式会社 | 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号 | 308,000 | 1.82 |
| 北中 壽一 | 東京都調布市 | 305,000 | 1.80 |
| 計 | | 9,709,897 | 57.26 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|---------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式数) 普通株式 613,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 16,322,000 | 16,322 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 22,016 | | 一単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 16,957,016 | | |
| 総株主の議決権 | | 16,322 | |

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式353株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%) |
|------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) I M V 株式会社 | 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号 | 613,000 | | 613,000 | 3.62 |
| 計 | | 613,000 | | 613,000 | 3.62 |

(注) 上記株式数には、単元未満株式353株を含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,317,596 | 1,611,857 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,669,414 | 2,838,668 |
| 製品 | 280,369 | 112,891 |
| 仕掛品 | 1,026,288 | 1,147,531 |
| 原材料 | 314,757 | 333,927 |
| 繰延税金資産 | 142,492 | 153,560 |
| その他 | 77,919 | 95,855 |
| 貸倒引当金 | 1,199 | 1,999 |
| 流動資産合計 | 4,827,639 | 6,292,291 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 923,996 | 886,835 |
| 土地 | 1,526,802 | 1,526,802 |
| その他 | 304,124 | 232,085 |
| 有形固定資産合計 | 2,754,922 | 2,645,723 |
| 無形固定資産 | 25,473 | 33,535 |
| 投資その他の資産 | 154,761 | 155,090 |
| 固定資産合計 | 2,935,158 | 2,834,349 |
| 資産合計 | 7,762,797 | 9,126,641 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,047,123 | 1,601,979 |
| 短期借入金 | 1,560,000 | 1,660,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 324,914 | 309,848 |
| 未払金 | 193,166 | 113,965 |
| 未払費用 | 221,642 | 170,719 |
| 未払法人税等 | 159,019 | 393,791 |
| 製品保証引当金 | 57,000 | 58,000 |
| その他 | 236,045 | 282,556 |
| 流動負債合計 | 3,798,911 | 4,590,860 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 581,841 | 686,941 |
| 繰延税金負債 | 33,175 | 31,638 |
| 長期未払金 | 194,859 | 194,859 |
| 資産除去債務 | 37,499 | 37,815 |
| その他 | 30,392 | 28,801 |
| 固定負債合計 | 877,767 | 980,054 |
| 負債合計 | 4,676,679 | 5,570,915 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 464,817 | 464,817 |
| 資本剰余金 | 557,563 | 557,563 |
| 利益剰余金 | 2,150,869 | 2,623,644 |
| 自己株式 | 109,829 | 109,829 |
| 株主資本合計 | 3,063,420 | 3,536,195 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,953 | 19,793 |
| 為替換算調整勘定 | 3,743 | 263 |
| その他の包括利益累計額合計 | 22,697 | 19,530 |
| 純資産合計 | 3,086,117 | 3,555,726 |
| 負債純資産合計 | 7,762,797 | 9,126,641 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 3,620,538 | 4,346,045 |
| 売上原価 | 2,231,257 | 2,534,456 |
| 売上総利益 | 1,389,280 | 1,811,588 |
| 販売費及び一般管理費 | ¹ 750,698 | ¹ 866,289 |
| 営業利益 | 638,582 | 945,299 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 386 | 240 |
| 受取配当金 | 462 | 811 |
| 為替差益 | 55,496 | 23,834 |
| 受取賃貸料 | 7,315 | 14,311 |
| セミナー収入 | 1,997 | 3,405 |
| 雑収入 | 7,621 | 4,383 |
| 営業外収益合計 | 73,280 | 46,987 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,094 | 7,145 |
| 賃貸収入原価 | 1,356 | 1,913 |
| 雑損失 | 3,667 | 3,785 |
| 営業外費用合計 | 13,118 | 12,844 |
| 経常利益 | 698,744 | 979,442 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 281 | 1,867 |
| 減損損失 | - | 43,512 |
| 特別損失合計 | 281 | 45,379 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 698,462 | 934,063 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 228,752 | 384,615 |
| 法人税等調整額 | 6,618 | 5,045 |
| 法人税等合計 | 235,371 | 379,569 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 463,091 | 554,493 |
| 四半期純利益 | 463,091 | 554,493 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 463,091 | 554,493 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,912 | 840 |
| 為替換算調整勘定 | 399 | 4,007 |
| その他の包括利益合計 | 12,312 | 3,166 |
| 四半期包括利益 | 475,403 | 551,326 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 475,403 | 551,326 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 698,462 | 934,063 |
| 減価償却費 | 119,616 | 102,132 |
| 減損損失 | - | 43,512 |
| のれん償却額 | 1,817 | 1,817 |
| 貸倒引当金の増減額（は減少） | 200 | 800 |
| 製品保証引当金の増減額（は減少） | 2,000 | 1,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | 848 | 1,052 |
| 受取賃貸料 | 7,315 | 14,311 |
| 支払利息 | 8,094 | 7,145 |
| 為替差損益（は益） | 20,605 | 13,667 |
| 固定資産除却損 | 281 | 1,867 |
| 売上債権の増減額（は増加） | 464,873 | 1,167,647 |
| たな卸資産の増減額（は増加） | 28,390 | 30,062 |
| 仕入債務の増減額（は減少） | 200,549 | 518,931 |
| その他 | 31,104 | 111,906 |
| 小計 | 477,881 | 332,745 |
| 利息及び配当金の受取額 | 703 | 1,119 |
| 利息の支払額 | 7,903 | 7,175 |
| 法人税等の支払額 | 236,993 | 151,719 |
| 法人税等の還付額 | 300 | 11,655 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 233,988 | 186,626 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,578 | 7,026 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 97,701 | 19,326 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 8,928 | 5,022 |
| 保険積立金の解約による収入 | 2,049 | 790 |
| 定期預金の預入による支出 | 5,518 | 6,019 |
| その他 | 244 | 12,717 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 111,431 | 23,886 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 540,000 | 100,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 257,826 | 209,966 |
| 配当金の支払額 | 81,396 | 81,563 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 300,777 | 108,470 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 34,910 | 17,030 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 458,244 | 288,240 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 921,920 | 1,111,550 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ¹ 1,380,165 | ¹ 1,399,790 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|------------|--|--|
| 広告宣伝費 | 19,548千円 | 26,393千円 |
| 販売手数料 | 20,773 " | 24,258 " |
| 製品保証引当金繰入額 | 45,517 " | 58,000 " |
| 役員報酬 | 49,016 " | 49,904 " |
| 給与手当 | 143,791 " | 167,617 " |
| 賞与 | 36,949 " | 35,841 " |
| 旅費交通費 | 45,965 " | 48,815 " |
| 租税公課 | 34,274 " | 36,528 " |
| 研究開発費 | 130,869 " | 202,289 " |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 現金及び預金 | 1,581,672千円 | 1,611,857千円 |
| 預入期間が3か月を超える 定期預金 | 201,506 " | 212,066 " |
| 現金及び現金同等物 | 1,380,165千円 | 1,399,790千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年12月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 81,725 | 5.00 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月25日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成25年12月20日 定時株主総会 | 普通株式 | 81,718 | 5.00 | 平成25年9月30日 | 平成25年12月24日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売並びに振動試験の受託であり、その事業全てが振動に関する単一事業であるため、セグメント情報は記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 28円33銭 | 33円93銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 463,091 | 554,493 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 463,091 | 554,493 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 16,345,063 | 16,343,663 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月12日

I M V 株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井 上 嘉 之

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 方 実

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているI M V株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、I M V株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。